

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2005-348157(P2005-348157A)

【公開日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-049

【出願番号】特願2004-166137(P2004-166137)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/232 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 C

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/232 B

H 04 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月4日(2007.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

姿勢が制御可能な複数のカメラと、当該複数のカメラを制御するための制御装置とで構成されるカメラシステムであって、

前記制御装置は、

探索対象に係るデータを保持する第1の保持手段と、

前記データを前記複数のカメラのそれぞれに送信する第1の送信手段とを備え、

前記複数のカメラのそれぞれは、

自カメラによる撮像画像を複数の領域に分割した場合に、分割領域内の撮像内容を共有して撮像可能な他カメラを特定するカメラ情報を、当該分割領域を特定する情報に関連付けて保持する第2の保持手段と、

前記第1の送信手段により得られた前記データを用いて、撮像画像中の前記探索対象を探索する探索手段と、

前記探索手段が前記探索対象を検知した位置に対応するカメラ情報を前記第2の保持手段から特定し、特定したカメラ情報で特定される他カメラに対して、前記探索手段が前記探索対象を検知したことを通知する通知手段と、

自カメラが他カメラの前記通知手段から前記通知を受けた場合には、当該自カメラによる撮像画像中で、当該他カメラを特定するカメラ情報を関連付けられた領域を注視すべく、自カメラの姿勢を制御する制御手段と

を備えることを特徴とするカメラシステム。

【請求項2】

前記複数のカメラのそれぞれは更に、

前記探索手段が前記探索対象を検知した場合には、前記探索対象を探索するのに参照した撮像画像を他カメラに送信する第2の送信手段を備え、

前記探索手段は前記データに加えて、他カメラの前記第2の送信手段により送信された撮像画像を用いて、自カメラによる撮像画像中の前記探索対象を探索することを特徴とす

る請求項 1 に記載のカメラシステム。

【請求項 3】

前記複数のカメラのそれぞれは更に、

前記探索手段が前記探索対象を検知した場合には、前記探索対象を探索するのに参照した撮像画像、及び当該撮像画像を撮像したカメラを特定する情報を他カメラに送信する第 2 の送信手段を備えることを特徴とする請求項 1 に記載のカメラシステム。

【請求項 4】

前記複数のカメラのそれぞれは更に、

前記第 1 の送信手段により得られた前記探索対象に係るデータを保持する第 3 の保持手段と、

前記第 3 の保持手段に複数対象分の前記探索対象に係るデータが保持されている場合に、前記探索対象に係るデータを前記第 1 の送信手段により得た時点からの経過時間に応じて、それぞれのデータに対して優先順位を付ける順位付け手段とを備え、

前記探索手段は、前記順位付け手段が付けた順位に従って前記探索処理を行うことを特徴とする請求項 1 に記載のカメラシステム。

【請求項 5】

姿勢が制御可能で他のカメラと通信可能なカメラであって、

自カメラによる撮像画像を複数の領域に分割した場合に、分割領域内の撮像内容を共有して撮像可能な他カメラを特定するカメラ情報を、当該分割領域を特定する情報に関連付けて保持する保持手段と、

外部装置から送信された探索対象に係るデータを用いて、撮像画像中の当該探索対象を探索する探索手段と、

前記探索手段が前記探索対象を検知した位置に対応するカメラ情報を前記保持手段から特定し、特定したカメラ情報で特定される他カメラに対して、前記探索手段が前記探索対象を検知したことを通知する通知手段と、

自カメラが他カメラの前記通知手段から前記通知を受けた場合には、当該自カメラによる撮像画像中で、当該他カメラを特定するカメラ情報に関連付けられた領域を注視すべく、自カメラの姿勢を制御する制御手段と

を備えることを特徴とするカメラ。

【請求項 6】

姿勢が制御可能で他のカメラと通信可能なカメラの制御方法であって、

自カメラによる撮像画像を複数の領域に分割した場合に、分割領域内の撮像内容を共有して撮像可能な他カメラを特定するカメラ情報を、当該分割領域を特定する情報に関連付けてメモリに保持する保持工程と、

外部装置から送信された探索対象に係るデータを用いて、撮像画像中の当該探索対象を探索する探索工程と、

前記探索工程で前記探索対象を検知した位置に対応するカメラ情報を前記メモリから特定し、特定したカメラ情報で特定される他カメラに対して、前記探索工程で前記探索対象を検知したことを通知する通知工程と、

自カメラが他カメラの前記通知工程によって前記通知を受けた場合には、当該自カメラによる撮像画像中で、当該他カメラを特定するカメラ情報に関連付けられた領域を注視すべく、自カメラの姿勢を制御する制御工程と

を備えることを特徴とするカメラの制御方法。

【請求項 7】

コンピュータに請求項 6 に記載の制御方法を実行させるためのプログラム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のプログラムを格納したことを特徴とする、コンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち、姿勢が制御可能な複数のカメラと、当該複数のカメラを制御するための制御装置とで構成されるカメラシステムであって、

前記制御装置は、

探索対象に係るデータを保持する第1の保持手段と、

前記データを前記複数のカメラのそれぞれに送信する第1の送信手段とを備え、  
前記複数のカメラのそれぞれは、

自カメラによる撮像画像を複数の領域に分割した場合に、分割領域内の撮像内容を共有して撮像可能な他カメラを特定するカメラ情報を、当該分割領域を特定する情報に関連付けて保持する第2の保持手段と、

前記第1の送信手段により得られた前記データを用いて、撮像画像中の前記探索対象を探索する探索手段と、

前記探索手段が前記探索対象を検知した位置に対応するカメラ情報を前記第2の保持手段から特定し、特定したカメラ情報で特定される他カメラに対して、前記探索手段が前記探索対象を検知したこと通知する通知手段と、

自カメラが他カメラの前記通知手段から前記通知を受けた場合には、当該自カメラによる撮像画像中で、当該他カメラを特定するカメラ情報を関連付けられた領域を注視すべく、自カメラの姿勢を制御する制御手段と

を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

すなわち、姿勢が制御可能で他のカメラと通信可能なカメラであって、

自カメラによる撮像画像を複数の領域に分割した場合に、分割領域内の撮像内容を共有して撮像可能な他カメラを特定するカメラ情報を、当該分割領域を特定する情報に関連付けて保持する保持手段と、

外部装置から送信された探索対象に係るデータを用いて、撮像画像中の当該探索対象を探索する探索手段と、

前記探索手段が前記探索対象を検知した位置に対応するカメラ情報を前記保持手段から特定し、特定したカメラ情報で特定される他カメラに対して、前記探索手段が前記探索対象を検知したこと通知する通知手段と、

自カメラが他カメラの前記通知手段から前記通知を受けた場合には、当該自カメラによる撮像画像中で、当該他カメラを特定するカメラ情報を関連付けられた領域を注視すべく、自カメラの姿勢を制御する制御手段と

を備えることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

すなわち、姿勢が制御可能で他のカメラと通信可能なカメラの制御方法であって、

自カメラによる撮像画像を複数の領域に分割した場合に、分割領域内の撮像内容を共有して撮像可能な他カメラを特定するカメラ情報を、当該分割領域を特定する情報に関連付

けてメモリに保持する保持工程と、

外部装置から送信された探索対象に係るデータを用いて、撮像画像中の当該探索対象を探索する探索工程と、

前記探索工程で前記探索対象を検知した位置に対応するカメラ情報を前記メモリから特定し、特定したカメラ情報で特定される他カメラに対して、前記探索工程で前記探索対象を検知したことを通知する通知工程と、

自カメラが他カメラの前記通知工程によって前記通知を受けた場合には、当該自カメラによる撮像画像中で、当該他カメラを特定するカメラ情報に関連付けられた領域を注視すべく、自カメラの姿勢を制御する制御工程と

を備えることを特徴とする。